

CustomerVision 印刷くん 2.0

Company Info JBアドバンス・テクノロジー株式会社 URL <http://www.jbat.co.jp/>

IBM iからの帳票出力を Windowsプリンタで簡単かつ柔軟に印刷

クライアントソリューションとして 印刷環境の運用性を向上

「CustomerVision 印刷くん 2.0」(以下、印刷くん 2.0)は、JB アドバンス・テクノロジーが発売したプリンティング支援ソリューションの新製品である。

同社が提供する IBM i 関連のプリンティング支援ソリューションとしては、既に高い実績を誇る「PrintPro シリーズ」がある。ただし PrintPro シリーズが、大規模で印刷量の多いユーザーを対象に印刷ジョブを一元管理したり、アプリケ

ーションに組み込んで利用したりするのに対して、印刷くん 2.0 では比較的小規模で、オフィスプリンタで少量の印刷を行うようなユーザーが対象となる。

つまり IBM i の帳票を基幹専用プリンタではなく、Windows で使用しているレーザー／ドットプリンタで手軽に印刷するための機能を提供するのが、印刷くん 2.0 なのである。

最大の特徴は、プリンタセッションを使用せず、印刷専用サーバーを必要としないクライアント稼働のソリューションであること。基幹システムと帳票システムを分離し、部品化したことで運用性の

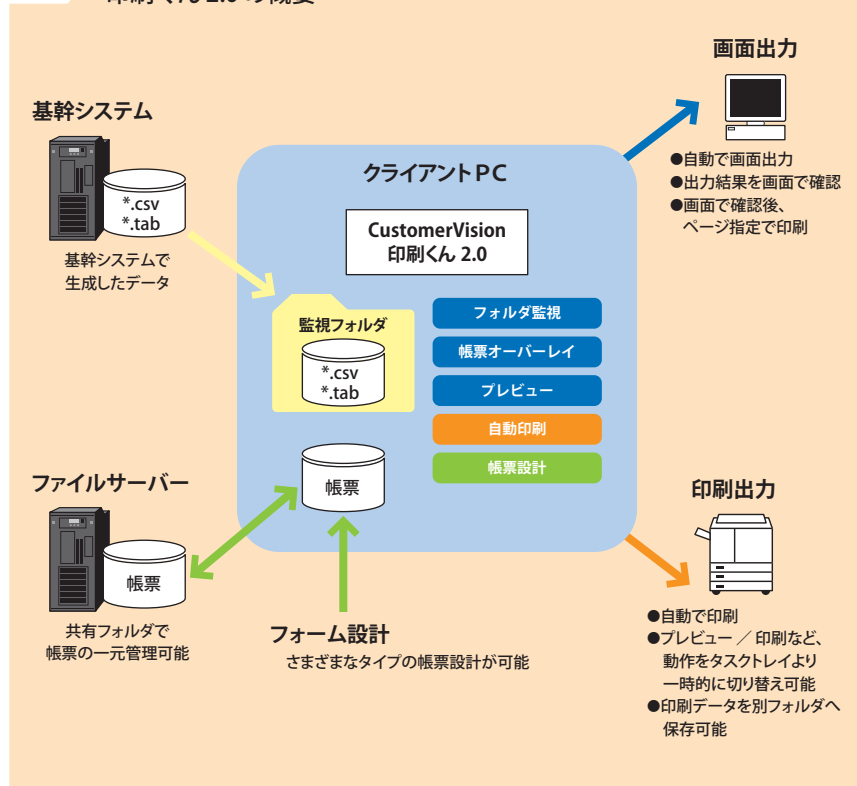
向上やメンテナンスコストの削減に役立つ。

例えばユーザーは、帳票に対して、画面でのプレビューと印刷を自由に切り替えられる。設定に従ってフォルダを常時監視。IBM i からデータがくれば、印刷くん 2.0 で指定した帳票を自動的に印刷してもよいし、画面のプレビューだけで終わらせてもよい。あらかじめ印刷されたストックフォーム帳票を使用しないことに加え、画面の確認後、ページ指定で必要な帳票だけを印刷することにより、印刷コストの低減および CO₂ の削減に寄与することになる。

共用ファイルサーバーを利用すれば、データ定義情報などを含む帳票フォームの一元管理が可能だ。

またクライアント PC 側に設定情報をもたせず、印刷用データにコマンド命令を記述することで、基幹システム側で出力方式をコントロールすることもできる。クライアント稼働のソリューションならではの、簡単かつ柔軟な運用性が今までのプリンティング支援ソリューションと大きく異なる点であろう。

図表 印刷くん 2.0 の概要



Product Information

- 発売：2009年3月
- 価格：オープン価格
- 稼働環境：Windows XP Professional SP1以降、Windows Vista Business (32ビット版)
- 参考URL：http://www.jbcc.co.jp/products/jbcc_soft/5s/